

## 実験用中型放送衛星(B-S)のトランスポンダに生じた不具合の原因究明及び今後の対策について(案)

昭和55年9月24日

宇宙開発委員会決定

1. 昭和53年4月に打ち上げられた実験用中型放送衛星(B-S)のトランスポンダに生じた不具合について、その原因を究明し、今後の対策について審議検討を行うものとする。

2. このため、原因究明及び今後の対策に係る技術的事項について、第四部会において調査審議を行うものとする。

この調査審議は、昭和55年10月末までに終えることを目途とする。

宇宙開発委員会第四部会構成員

昭和55年9月  
(50音順)

部会長	佐 貫 亦 男	日本大学理工学研究所顧問
部会長代理	内 田 茂 男	名古屋大学工学部教授
専門委員	秋 葉 録二郎	東京大学宇宙航空研究所教授
	大 島 耕 一	東京大学宇宙航空研究所教授
	栗 原 芳 高	郵政省電波研究所長
	五 代 富 文	科学技術庁航空宇宙技術研究所主任研究官
	小 林 繁 夫	東京大学工学部教授
	中 込 雪 男	国際電信電話株式会社取締役
	長 洲 秀 夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所 宇宙研究グループ総合研究官
	林 友 直	東京大学宇宙航空研究所教授
	* 平 井 正 一	宇宙開発事業団理事
	* 平 木 一	宇宙開発事業団理事
	前 田 弘	京都大学工学部教授
	虫 明 康 人	東北大学工学部教授

注) \*印の専門委員は、今回の調査審議については、説明者として参加する。

# 委 20-4

N-Ⅱ ロケット 1号機の打上げに係る安全  
の確保に関する審議について (案)

昭和55年9月24日  
宇宙開発委員会  
決 定

昭和55年度1～2月期に予定されている、N-Ⅱロケット1号機の打上げに係る安全の確保に資するため、次により調査審議を行うものとする。

1. N-Ⅱロケット1号機の打上げにおいて、宇宙開発事業団が実施しようとしている安全対策に関する次の諸点について調査審議を行うものとする。

- (1) 地上安全
- (2) 飛行安全
- (3) 安全管理体制

2. 1.の調査審議は、第三部会において行い、昭和55年12月上旬までに終わることを目途とする。

参 考

宇宙開発委員会第三部会構成員

昭和55年9月

(50音順)

部会長	正出 強	福井工業大学長
部会長代理	河崎 俊夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所長
専門委員	秋葉 鏝二郎	東京大学宇宙航空研究所教授
	上杉 邦憲	東京大学宇宙航空研究所助教授
	大竹 利男	郵政省電波監理局無線通信部長
	極谷 一矢	科学警察研究所法科学第二部長
	山下 正夫	通商産業省工業技術院化学技術研究所 保安環境化学部第二課長
	倉谷 健治	東京大学宇宙航空研究所教授
	五代 富文	科学技術庁航空宇宙技術研究所主任研究官
	齋藤 照光	通商産業省立地公害局保安課火薬専門職
*	菅尾 貞佳	宇宙開発事業団安全管理部長
	橋 房夫	自治省消防庁消防研究所第一研究部長
	長 沢 修	運輸省航空局技術部長
*	長 島 利正	宇宙開発事業団打上管制部長
	中村 泰三	外務省国際連合局参事官
	橋口 幸雄	通商産業省工業技術院化学技術研究所 保安環境化学部第三課長
	灘田 元紀	東京大学宇宙航空研究所助教授
*	平木 一	宇宙開発事業団理事
	福島 弘	運輸省海上保安庁警備救難部長
*	山口 弘一	宇宙開発事業団システム計画部長
	山中 龍夫	科学技術庁航空宇宙技術研究所主任研究官
	山本 草二	東北大学法学部教授
	山本 達雄	通商産業省立地公害局保安課高圧ガス班長

\*印の専門委員は、今回の調査審議については、説明者として参加する。